

第2学年 外国語科（英語コミュニケーションⅡ）学習指導案

日時： 令和5年12月14日（木）

場所： いわき光洋高等学校 213教室

クラス： 2年A・B組（26名）

1 単元名 CHAPTER 7 The Psychology of Everyday Experiences
(New Rays English Communication II いいずな書店)

2 単元の見目

私たちの思考や行動の多くには社会心理学の理論に基づいた事象が存在することを理解し、聞いた
り読んだりしたことを整理して捉えた上で、学習した心理作用を利用した日常生活の場面をスキット
で発表することができる。

3 単元について

(1) 教材観

本単元では、日常生活の様々な場面における、私たちの思考や行動の背景にある心理学的な現象や
効果がいくつかり取り上げられている。「社会心理学」と聞くとやや難しいイメージがあるが、生徒が
自分の実生活を思い浮かべながら聞いたり読んだりすることができる、という面白さもある。大学で
心理学を学ぶことを希望している生徒や心理学に興味を持っている生徒もおり、生徒が心理学的な事
象を実生活の身近な場面に関連付けながら理解できるよう工夫したい。

(2) 生徒観

2学級を3分割して授業を行っているクラスである。全体的に自分の考えなどを発表することに苦
手意識を持つ生徒が多いが、授業のペアやグループでの活動では、活発にやり取りすることができる。
そのため、日頃から「みんなの前で間違いや失敗をすることが恥ずかしい」というような思いが先行
しないよう、生徒が、教員や友人と自分の考えを共有し、発信する機会を設けるようにしている。

CAN-DOリストによる学習到達目標については、やや長めの説明文等を読んで、概要や要点等
をとらえること（第2学年・「読むこと」①）は概ねできる状況にある。一方で、「話すこと [発表]」で
は、聞いたり読んだりしたことについて、情報や考えなどをまとめて発表することができること（第
2学年・「話すこと」①）を目指しているが、多くの支援が必要な状況である。2月には、校内英語スピー
ーチコンテストがあるため、生徒が自分の考えなどを発信することに自信を持つことができる機会に
したい。

(3) 指導観

単元末には、学習した心理学的な事象を説明するため、日常生活における場面を各自設定してオリ
ジナルのスキットを作成して発表し、単元の評価を行う。そのため、各パートにおいては、取り上げ
られている日常生活における様々な場面と、それぞれの背景にある心理作用について、生徒の身近な
話題に触れながら授業を展開し、生徒が、単元の内容を自分事として捉えながら、読んだり聞いたり
できるようにしたい。また、スキットの発表では、心理的な事象について要点や詳細を整理して捉え
た上で、自分の日常生活の場面を設定して、その効果を論理的に提示する必要がある。パートごとに、
学んだことを自分の日常生活の場面にどう生かせるかを、ペアやグループ、クラスで共有する機会を
設けて、スキット作成につなげたい。

4 小中高連携の視点

スキット作成にあたっては、英語でのやり取りが難しいと感じている生徒も多い。中学校での既習
事項を用いれば、日常的なやり取りは十分行うことができるということを認識させ、教師と生徒、あ
るいは生徒同士のやり取りの機会を多く設けたい。

中央台東小学校・南中学校が作成した「Minami English Roadmap」との連携を意識して、自校の
CAN-DO リストを「KOYO English Roadmap」として整理した。小中高の英語学習全体を見通し、学
びの連続性を確保できるようにしたい。

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読み取るために必要となる、話し手の態度を示す表現、助動詞+完了形、心理学に関する語彙や表現の意味や働きを理解している。 日常生活における心理学についての文章を読み取る技能を身につけている。 	<p>自分（たち）の考えを発表するために、日常生活における心理学についての説明文を読んで、概要や要点、詳細を整理して捉えている。</p>	<p>自分（たち）の考えを発表するために、日常生活における心理学についての説明文を読んで、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。</p>
話すこと (発表)	<ul style="list-style-type: none"> 情報や考え、気持ちなどを話して伝えるために必要となる語句や表現を理解している。 周囲の人を納得させることができるように、日常生活における心理学の事例や効果について、情報や考え、気持ちなどをスキットにし、話して伝える技能を身に付けている。 	<p>周囲の人を納得させることができるように、日常生活における心理学の事例や効果について、情報や考え、気持ちなどをスキットにし、話して伝えている。</p>	<p>周囲の人を納得させることができるように、日常生活における心理学の事例や効果について、情報や考え、気持ちなどをスキットにし、話して伝えようとしている。</p>

6 単元の指導計画 (全 10 時間)

時	目標◆/活動○/言語活動のテーマ※	評価			
		知	思	主	◎評価規準<評価方法>
1	<p>◆ 日常生活において、人間の様々な心理が影響する場面に触れ、単元の学習への意欲を向上させる。</p> <p>※ 単元内で扱う心理現象について読んだり聞いたりしたことを基に、自分が考えたことや感じたことについて話して伝えている。</p>				
	<ul style="list-style-type: none"> ○ Oral Introduction ○ “psychology (心理学)”と聞いてイメージすることを個人で考え、グループや全体で共有する。 ○ 単元内で扱う心理現象を体感し、どのように感じたかなどについて話して伝える。 ○ 単元内で扱う心理現象を体感し、自分ならどうするかなどについて話して伝える。 				<p>記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。生徒の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が生徒の学習状況を確認する。</p>
	<p>◆ 各パートの内容を学習しながら、日常生活の様々な場面における心理学的な現象や効果について理解する。</p> <p>※ 各パートで学習した内容を、自分の日常生活のどのような場面に活用できるかについて考え、自分の考えを周りと共有し、話して伝える。</p>				

2 9	<p>[Part 1] “Snob Effect” “Psychological Reactance” [Part 2] “Door-in-the-Face Technique” “Norm of Reciprocity” [Part 3] “Social Facilitation” [Part 4] “Cognitive Dissonance”</p> <p>下記の活動を適宜組み合わせて、学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Oral Introduction ○ Practicing New Words ○ Grasping Points (Listening/Reading) ○ Dictation ○ Intensive Reading ○ Comprehension Check ○ Making Questions ○ Oral Reading ○ Sight Translation ○ Sharing Ideas <p>9時間目の授業では、単元末の言語活動に向け、ペアやグループ、クラスで考えを共有したり、原稿についてのメモを作成したりする。</p>	読 ・ 話 発		<p>◎ 文章を読み取るために必要となる、話し手の態度を示す表現、助動詞+完了形、心理学に関する語彙や表現の意味や働きを理解している。</p> <p>◎ 日常生活における心理学についての文章を読み取る技能を身につけている。</p> <p>◎ 情報や考え、気持ちなどを話して伝えるために必要となる語句や表現を理解している。</p> <p><行動観察・ワークシート></p>
1 0 (本時)	<p>◆ クラスメイトを納得させることができるように、日常生活における心理学の事例や効果について、情報や考え、気持ちなどをスキットにして発表することができる。</p> <p>※ 日常生活における心理学の事例や効果について、オリジナルの情報や考え、気持ちなどを、スキット形式で書き、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Review of the Content ○ Preparing Skit ○ Skit Presentation ○ Feedback ○ Reflection ○ Wrap-Up 	読 ・ 話 発	読 ・ 話 発	<p>◎ 日常生活における心理学の事象について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。</p> <p>◎ 周囲の人を納得させることができるように、日常生活における心理学の事例や効果について、情報や考え、気持ちなどをスキットにし、話して伝えている。</p> <p><ワークシート・録画></p>

※ 本單元における「聞くこと」及び「書くこと」については目標に向けて指導は行うが、本單元内で記録に残す評価は行わない。

7 本時の目標

クラスメイトを納得させることができるように、聞いたり読んだりしたことを整理して捉えた上で、学習した心理作用を利用した日常生活の場面をスキットにして発表することができる。

8 指導過程

段階	学習活動・学習内容	○指導上の留意点 評価
導入 8分	<p>1 Review of the Content 単元の内容を振り返る。</p> <p>[Part 1] “Snob Effect” “Psychological Reactance” [Part 2] “Door-in-the-Face Technique” “Norm of Reciprocity” [Part 3] “Social Facilitation” [Part 4] “Cognitive Dissonance”</p>	<p>○ 生徒と英語でやり取りしながら、学習した内容について復習し、生徒が単元で学習した内容を整理できるようにする。</p> <p>○ スキットで活用できる表現を取り上げ、展開の言語的な支援につなげる。</p>
展開 35分	<p>2 Preparing Skit ペアやグループで、日常生活における心理学の事例や効果についてスキットを準備する。</p> <p>3 Presenting the Model ・教科書の例で、発表のポイントを確認する。 ・活動の流れや評価規準についても確認する。</p> <p>4 Skit Presentation（1回目） ・ペア（グループ）で発表を行う。 ・お互いの発表の内容や表現について、良かった点や改善点について伝えあう。</p> <p>5 Feedback ・クラスで、1回目の発表について共有する。 ・必要に応じて、内容や表現についての訂正や練習を行う。</p> <p>6 Skit Presentation（2回目） ・再度ペア（グループ）を替えて発表を行う。 ・スキットを録画する。 ・お互いに、内容や発表について、良かった点などを伝え合う。</p>	<p>○ 前時に考えたおおまかなスキットの流れについて、スキットの内容が心理作用を説明しているかどうかを確認させる。</p> <p>○ スキットの内容については、やりとりの目的や設定した場面・状況を意識するように指導する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>日常生活における心理学の事例や効果について、概要や要点、詳細を整理して捉えている。＜ワークシート＞「読むこと」【思・判・表】</p> </div> <p>○ 必要に応じて、生徒に発表してもらったり、質問を受け付けたりして、改善点をクラスで共有して中間指導を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>周囲の人を納得させることができるように、日常生活における心理学の事例や効果について、情報や考え、気持ちなどを話して伝えている。＜録画＞「話すこと [発表]」【思・判・表】</p> </div>
まとめ 7分	<p>7 Reflection ワークシートに自己評価や目標の達成度等を記入し、本時の目標が達成できたか確認する。</p> <p>8 Unit Wrap-Up</p>	<p>○ 生徒たちの感想をクラスで共有する。</p> <p>○ 単元を総括し、活動における目標の達成度などについてコメントする。</p>